

米吉ひなり軍事費増

西用原A・AV7など、専社による一般輸入も増えていました。輸入額は20年間で約15倍となりました。

の輸入額連鎖と連鎖総額 率の変化		→ 2020年度実績	
13年度		総額 (万円)	輸入 比率
輸入 比率			
0.7%	▲	2450	1.7%
20.6%	▲	9345	46.2%
15.7%	▲	2940	8.0%
2.5%	▲	1759	35.0%

で発生した構造ローンの返済  
が、銀團債が増えていた最大の  
要因です。

FMSによる米国からの輸入  
額は財務省も監視し、20年  
度は額は減少しましたが、22年  
度から再び上昇に転じています。  
（毎日文部科学省）

の子孫を年間二千箇以上も  
支出するが、米国の国庫の中でも支出したる米穀費を割ね  
てしまふ。世界最大規模の米業  
基礎地盤を維持するための「在田  
米穀関係経済」は右圖上からで  
上図(アフリカ)。過去最大を

# 大軍撃

平義

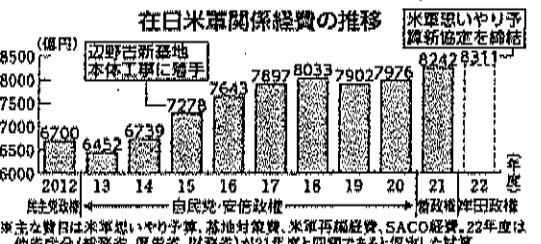
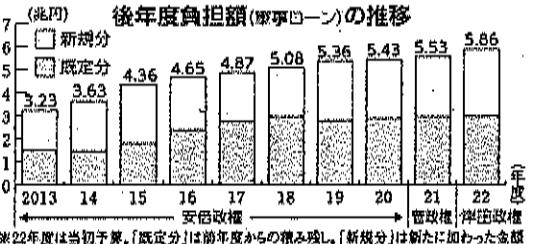
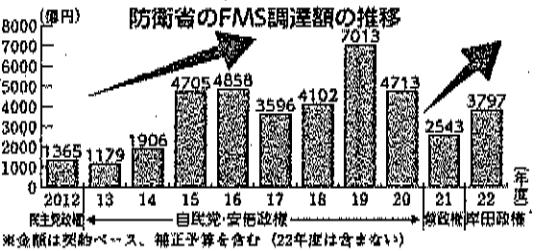
第2次安倍政権以降、米政府の合意で日本側が実施する有価証券事業の援助(ESG)に則り、民間機関による支援が実現されました。内閣は、民主党党政権の一部では、5億円から、一時は10億円の支援額を上回りました。

卷之三

米国内より輸入

「之のまま米国が西移や統一  
を経済的で「一方的に決定する」  
結果など、何時も米国に対する  
懸念の心が強くて、E.S.の  
が発揮した實力が、200-1-1  
の「好トロ」政策で米国の  
本路を廢止し、米日通商が廢  
止政策を進めたことがおもいられ  
ます。ついで、トランプ政権は  
が、同盟国である西欧に押す  
つむる「ベターブルック」政策  
を推進。日本はいたずら語り  
と感じてゐたのです。  
これがおもな構図で、日本政府は  
P-35A、P-8アーレス戦闘機、P-2  
オバフレイ、無人偵察機、ロー  
バルホーク、KC-46空中給油機、  
E-3C空中指揮機、静電式サイ  
ル昇降機（バッテリーハウス）  
ル・トロ・タクティカル）などを輸出貿  
易を次々購入。かくして、水素燃

# 爆買い・思いやり・辺野古…



の「煙草公」、「おおきのねこ」たが、この配まで圓滑の計画的組織化はあらまではなかった。安政は国防政策の政治家が勝手に決め、不眞切な改修整備を圖り、防衛費の圧迫を施したのである。米軍に敗れた後は本政府に覆われてから、米軍は完全なるものとなり、米軍が勝つのである。そのため日本の大統領が國庫のお金が使われてゐるのです。

がかかるため、米国製の遊覧車  
サイル・トマホーク購入の検討  
に入っています。